

No.12

県央・湘南の 環境と共生する都市づくり NEWS ○ 2005. 3

● みんなで考え、行動する環境共生の都市づくり通信 ●



目 次

- 1～2P 県民フォーラム「新幹線新駅と地域の活性化」
- 3P コラム「新駅に期待する」
- 4P ツインシティ整備に係る企業・大学懇談会を設立



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

（神奈川県、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、相模原市、厚木市、伊勢原市、
海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、
県商工会議所連合会、県商工会連合会）

県民フォーラム「新幹線新駅と地域の活性化」を開催



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、新幹線新駅誘致活動の一環として、昨年10月28日、厚木市のヤングコミュニティセンターで、県民フォーラム「新幹線新駅と地域の活性化」を開催しました。

当日は、120名の方々のご参加をいただき、三菱総合研究所主席研究員の平石和昭氏による講演を中心に、新幹線などの高速交通基盤の整備が、地域の活性化にどのような効果があるかについて考えました。

また、地元厚木市を拠点に活躍するハーモニカデュオ、Bom×Boa（ボンポア）のお二人によるハーモニカ演奏も楽しませてくださいました。

講師 平石 和昭 氏

株式会社三菱総合研究所主席研究員
東京大学工学部土木工学科卒業。
専門は交通計画、エネルギーインフラ計画。

著書：「整備新幹線とはなにか（共著、清文社、1986年）」、
「整備新幹線をどうつくるか（共著、清文社、1987年）」、
「国土幹線ガスパイプライン（共著、東洋経済新報社、2000年）」、
「新幹線と地域振興（交通新聞社、2002年）」他



講演の概要は次のページへ

県民フォーラム・講演「新幹線新駅と地域の活性化」

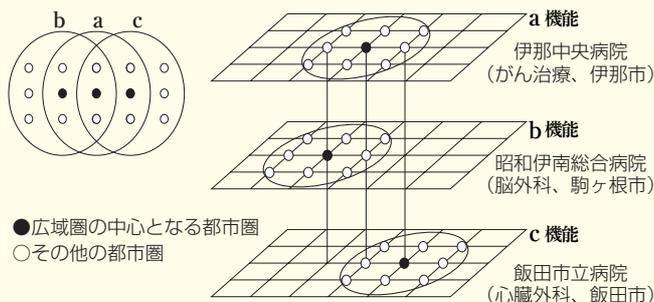
地域が一体となった受け皿整備の必要性

新幹線を呼び込んだときの効果として、時間短縮効果や人口の増加などの効果が考えられますが、新幹線整備後の発展の度合いを決めるのは、地域の受け皿整備のあり方です。新幹線は、地域振興にとっての「必要条件」であっても、「十分条件」には成り得ません。その上に地域が何をやってゆくか、これが極めて重要です。

受け皿整備を考えるときのポイントは、キーワードでいうと「重層型地域構造」です。新幹線が来ると人々の行動圏域が広がりますが、それを前提に、沿線の複数の地域がそれぞれの特徴を生かした機能を整備し、地域全体で総合的な機能に仕立てていくことが重要ではないかと思えます。そして、地域的な機能のすみ分けを考える際のキーワードが、「本物志向」です。行動圏域の広がる地域全体に通じるような本物の機能を、一つでよいから備えましょう、という考え方です。

重層型地域構造イメージ

例 長野県伊那地方の広域病院ネットワーク



それぞれ異なる機能に特化した3つの病院が、高速道路を介して結び付くことによって、1つの総合病院のように機能している。

「本物志向」の具体例としては、新潟県の大和町（現南魚沼市）における、国際大学の誘致など「教育」をキーにした地域振興や、宮城県の新田町（現加美町）の、本格的な音響を備えたクラシック室内楽専用ホール（バッハホール）の建設などがあります。新幹線のようなものが出来れば、広域から人が呼べますので、それをターゲットに優れた機能を持つ本物の施設に絞っていくことがポイントだと思います。



新幹線を活用した地域振興のポイント

新幹線を活用した地域振興のポイントとしては、「本物志向」など地域の付加価値を高めることや、「重層型地域構造」を構築しながら交流人口の拡大を図ることの他に、調和のとれた計画づくりと、新幹線駅への周辺都市からの良好な交通アクセスを確保することです。

調和のとれた計画づくりについて、倉見地区では、ツインシティ整備計画がありますが、行政を中心に住民との合意の下にきちとした計画を策定し、それを着実に実行していくことが非常に重要です。その際に、環境共生をキーコンセプトとして地域づくりを展開していくことは、今後非常に有効ではないかと思っています。

圏域内にあまねく効果を波及していくには、各地から新幹線新駅への良好なアクセスを確保することが非常に重要です。そこで、さがみ縦貫道路の整備や相模線の有効活用と同時に、地方の空港のように近傍に駐車場を用意し、車で駅へアクセスする発想の導入も面白いのではないかと、と思っています。

★コラム

新駅に期待する

このコーナーでは、県央・湘南都市圏の首長や業界団体の代表者の方々に新駅等への期待をお話いただきます。



ツインシティ大神地区予定区域内から富士山を望む

ツインシティの早期実現を図りたい

都市づくりに求められる社会ニーズは時代とともに変化し、地球規模の環境を重視することや地域の特性を生かすことなどが、新しいまちに求められるようになりました。

ツインシティは、そうした時代の変化や多様化する社会のニーズに適応し、首都圏の機能を分散する役割を担うまちづくりをめざすものです。平成14年にまとめた「ツインシティ整備計画」では、県央・湘南都市圏の南のゲートと示されており、交通アクセスの整備、特に新幹線新駅の誘致や相模川新橋、第二東名、さがみ縦貫道路を整備することで、都市間交流が盛んになり、企業の進出による都市の活性化が進むものと期待しております。

本市にありますツインシティ大神地区には、環境と共生するまちづくりの先進地区としての役割をはじめ、平塚北部地域の新たな拠点、あるいは、関東各地や全国との交通の玄関口としての役割があります。同地区内では、周辺と都市との交通を結ぶ拠点や、平塚側と寒川側の地区を結ぶ新橋と接続道路などを整備し、都市圏全体の発展と利便性の向上が図られる予定です。

こうした整備にあたっては、県民・企業・行政の「三者の協働（役割分担と連携）による都市づくり」を基本としています。地元では勉強会やアンケートなどを実施し、できるだけ住民の声が反映されるよう、主体的なまちづくりに努めています。貴重な意見をいただき、公共交通サービスの強化、地域の特性を生かした水と緑の拠点や商業施設の整備、医療・福祉サービスの充実などが取り上げられ検討されていることは、非常に喜ばしく思っております。

相模川流域の豊かな自然資源を活かし、地球環境への配慮など環境側面を重視した「環境共生都市」としてのまちづくりは、平塚市はもとより、県央・湘南都市圏のグレードをさらに高めるものと認識しております。期成同盟会や関係機関と連携しつつ、また、本市大神地区住民と協働して、まちづくりの早期実現が図られるよう取り組んでまいります。

「平塚市民の鳥・木・花」



平塚市 大藏 律子 市長



プロフィール

おおくら りつこ
昭和14年鹿児島県加世田生まれ。
昭和42年3月、平塚市民となる。
昭和62年4月から平塚市議会議員を4期務め、平成15年4月、平塚市長に就任。
座右の銘は、「雨だれ石をうがつ（小さな力でも根気よく長期間努力すれば、成功するということ）」。

ツインシティ整備に係る企業・大学懇談会を設立



東海道新幹線新駅の受け皿となる新しい都市・ツインシティ。その都市づくりについては、現在、都市計画決定をめざし、行政や住民の方々による検討、調査が進められています。さらに、今後、県央・湘南都市圏の発展の核として、また、環境共生のモデル都市として、魅力と活力ある都市づくりを進めるためには、都市活動の重要な担い手である企業をはじめ、産業団体や大学の方々のご意見やご提言を伺いながら進めていくことが重要となっています。

そこで、企業や大学の視点から、ツインシティの都市づくりについて幅広い意見等をいただくため、「ツインシティ整備に係る企業・大学懇談会」を設立することとし、昨年12月17日、松沢神奈川県知事、山田寒川町長

の出席のもと、寒川町の寒川総合体育館において設立会議を開催しました。

懇談会には、県央・湘南都市圏に立地する企業、大学など、48の団体にご参加いただき、また、議論のとりまとめをお願いする座長には、産能大学教授 齊藤 進氏にご就任をいただきました。

今後、年3、4回程度懇談会を開催し、企業や大学が事業活動や研究活動を行う上で、望まれる立地施設や都市基盤などについて、意見交換をまいります。

ツインシティ整備に係る企業・大学懇談会について、詳しくは、
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/kankyou-kyousei/> まで。

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会（平成8年5月発足）」では、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行っています。

平成16年度は、5月、8月、11月の3回にわたり、新幹線新駅の寒川町倉見地区への設置について、国会議員や国土交通省、JR東海に要望を行いました。



県・市町担当窓口

神奈川県	県土整備部県土整備総務室	045-210-6038(直)
平塚市	都市整備部都市整備課	0463-23-1111(代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	0466-25-1111(代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	0467-82-1111(代)
相模原市	都市部都市交通計画課	042-754-1111(代)
厚木市	市政企画部企画課	046-223-1511(代)
伊勢原市	市長公室企画調整課	0463-94-4711(代)
海老名市	まちづくり部都市計画課	046-231-2111(代)
座間市	企画部企画政策課	046-255-1111(代)
綾瀬市	総務部企画課	0467-77-1111(代)
寒川町	都市部新幹線新駅対策課	0467-74-1111(代)

東海道新幹線新駅の誘致活動については、期成同盟会のホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kendosomu/shin-eki/>

発行

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会（事務局：神奈川県県土整備部県土整備総務室）
 〒231-8588 横浜市中区日本大通1
 電話：045-210-6038 ファックス：045-210-8879
 E-mail：kankyou-kyousei.50@pref.kanagawa.jp

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています